

Title	心の世界を物語に学ぶ実施結果：アンケート集計結果(2012年度聖学院大学総合研究所カウンセリングシンポジウム)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.2, 2013.1 : 34-38
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4335
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2012年度 聖学院大学総合研究所
カウンセリングシンポジウム
心の世界を物語に学ぶ
実施結果—アンケート集計結果の概要

日 時 2012年9月28日(金)14:00~16:30
(開場13:30)

場 所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

私たちは物語を通して、人の心を学ぶことができます。

物語には、人の心の深い世界が描き込まれているからです。

古典から現代作品、伝承から創作作品、文字からコミック作品。

初秋のひとつとき、広大な物語の世界に耳を澄ませてみませんか。

いつのまにか、私たちは、自分の物語も味わい始めているかもしれません。

(このシンポジウムは2011年7月に開催した「いかに心の世界を学ぶか」の第2弾になります)

【プログラム】

開会挨拶 阿久戸光晴 (聖学院大学学長)

講演① 平山正実 (聖学院大学大学院教授、聖学院大学こども心理学科教授)

「イワン・イリッチの死」

講演② 窪寺俊之 (聖学院大学大学院教授、聖学院大学こども心理学科長)

「竹取物語」

講演③ 藤掛 明 (聖学院大学大学院教授、聖学院大学こども心理学科教授)

「マディソン郡の橋」「きみはベット」

質疑応答

インフォメーション

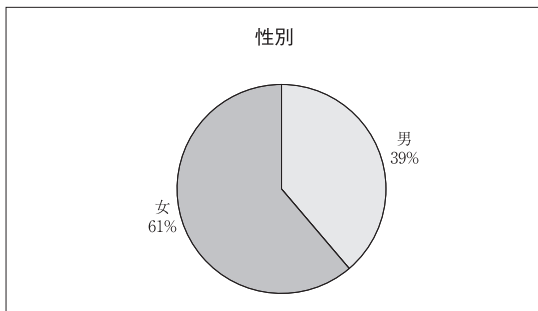
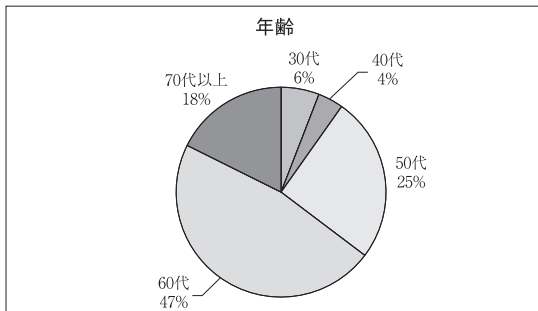
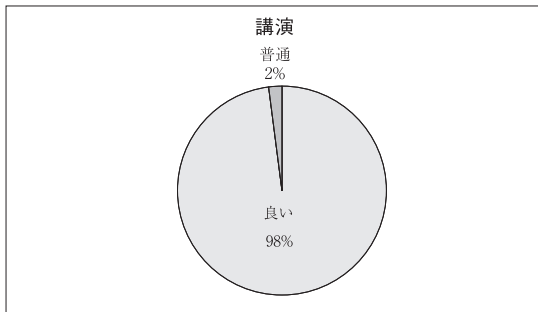
閉 会

【結果の概要】

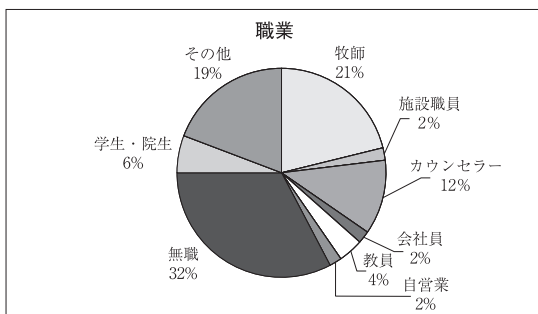
- ・参加者は88名。内、アンケート回答者は52名。
- ・講演について、「良い」という意見が98%と高い評価を得た。
- ・講演についての意見として、「3講座ともとても興味深い内容だった」「1人のテーマをもつ

と深く聞きたい」「大変勉強になった」など。

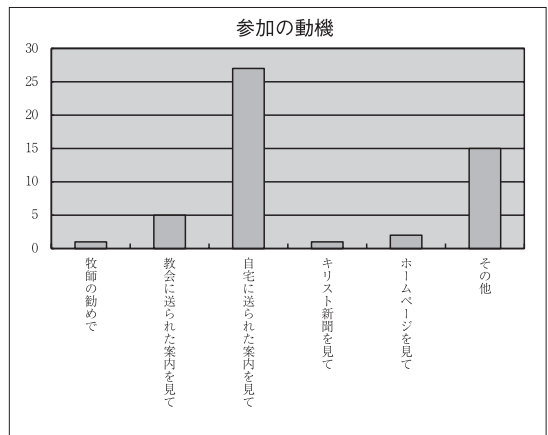
- ・自由意見は、「同じテーマを末永く続けて欲しい」「自分の今後に大変参考になった」



* 回答者の年齢は、「60代」が最も多く47%、次に「50代」25%、「70代以上」18%となった。
性別は、女性が60%だった。



* 職業別では、「牧師」が21%、「カウンセラー」12%、「学生・院生」6%となった。
「その他」の内容として、「自由業」「主婦」「牧師夫人」など。



* 参加の動機としては、「自宅に送られた案内を見て」が最も多かった。

「その他」の内容は、「ポスターを見て」「友人の紹介」「学校での案内」「家族の勧め」など。

講演についての意見

- ・それぞれの文字が人生観をとらえられたことで、新たな発見をした。「指」がテーマであると感じた。3人の講師の働きに感謝します。
- ・お3人のお話が聞けて、良かったと思うと同時に、お一人のテーマを深くお聞きしたいとも思いました。
- ・藤掛先生に質問。3種の対応のお話で③尊重のケースは良くわかりました。現実にある3回の対応の場合、「心のまま」に走る一理想と思う道に選択するケースもあり、その場合のカウンセラーの対応についてコメント下さい。
- ・人のいのち、人生は死を考えることによって、初めて本物に気づき、いとおしくなるのがしみじみ感じられた。超越・統合の大切さは解るが、現実的捉え方は難しい。ありがとうございました。
- ・講師のお3方それぞれ個性あふれるアプローチに時のたつのも忘れませんでした。昔から御本をたくさん読んでいた平山先生、日本文化と心理学の接点の語り手窪寺先生、興味深く聞きました。本日は、単発のこうした講義に無料で参加させて頂いた恵みでしたが、時間と費用を何とか勝ち取って1ターン、連続して何かのコースに来年入りたいと祈りはじめました。
- ・とてもおもしろい内容でした。小説や映画など

の登場人物について考えさせられることは良くありますが、原作者の意図や描こうとする内容の根源にあるものなど、わかるとますます作品に興味湧きます。人間の心を考えさせられるひとときでした。作品にあらわされる心の変化から、神がどのように私たちの心を見ておられるか（質疑の中でふれていただいたので感謝でした。ありがとうございました。）等も知りたかったです。

- ・平山先生の講演について、「試練のときに神をより近く感じ、自分自身の姿に気づき、神のあわれみ守りのうちにあることを感謝できた」そのことを思い起こしました。
- ・大変勉強になりました。また来たいです。
- ・竹取物語について、図描写などの一連の作品を見ながら、お話が聞いてよかった。映画やコミックの内容を題材話された、藤掛先生の魂について聞くと、自分がどう付き合って生活すべきか、見直してみたいと思った。平山先生のお話ではQODという言葉を知ることができた。
- ・〈イワン・イリツチの死〉は読んでいませんでしたが、がんになられたりされて、家族との関係がギクシャクされた方が死と向き合うと共に奥さんの信仰に反対されていたにもかかわらず、病床で信仰告白をされ、そしてキリスト教式の葬儀を遺言された方のことを思い出されました。窪寺先生、藤掛先生のお話の中にも日頃気づかないことを気づかせていただいた機会がありました。今日はありがとうございました。
- ・超越的価値、スピリチュアリティの超越的世



界、二律背反の調和・統合。My Storyに照らし合わせて大変有意義でした。

- ・「竹取物語にみるスピリチュアルな世界」の講演、大変興味深く聞きました。『竹取物語』の中に日本人の精神的基層を探り、日本人の死後観が表れているという考えはとても新鮮に思えました。
- ・3人の先生方の講演大変おもしろかったです。スピリチュアルの世界についてのお話、すごく役立つものだったと思います。心の問題を物語から学ぶというのも大変良いものであると感じました。
- ・講演③二律背反と統合の世界。正しく人の悩みは二律背反という言葉概念に当たるのかなと思います。そして統合していく力が成長を促すのでしょうか。統合する力、成長のポイントを自覚し、我がものとする精神生活に必要なことは何か、もう少しわしく知りたい気がします。読書、映画を観る芸術に触れる、また、人と会話する等々。自分を知る、見つめる、そして講演①の超越をままならぬ人生を通して体験していくことでしょうか。講演②の生死。さけられない事を受けとめる、癒しのストーリーを伝承する生活も穏やかに受けとめられる力になるかも。
- ・お3方の講演はそれぞれ特徴があって良かったです。窪寺先生のチャプレンとしてかかわった事例は緩和ケア病棟のボランティアをさせて頂いてる私に嬉しいお話でした。私も患者さんにご両親の夢を見ますか？と聞くことがあります。藤掛先生の講演のテキストマディソン郡の橋を読み返し、精神的愛の世界にときどきしたばあさんでした。ありがとうございました。
- ・「心の世界を物語に学ぶ」にはじめて出席させていただきました。物語を通してそこに登場する人物、時代背景などが、いかに大きなかわりをもっていくのか…勉強になりました。多少カウンセラーの学びをした者として、また50年の保育者として歩いてきて「物語」からこれほどに学んだことはなかったので、この様な学びの場を設けていただけたらと思います。
- ・映画のみかた、物語、マンガの読み方に巾が広

がりました。ありがとうございます。

- ・お3人の先生方それぞれ個性があって良かったです。「竹取物語」は特に面白かったです。
- ・感謝いたします。竹取物語の学びについて、婦人の方と分かち合いたと思います。
- ・毎回参加させていただいておりますが、今回は身近なテーマだったこともあり、深く、奥まで（私自身全て）浸み通っていくほど良かったです。聖学院の授業に参加させて頂きたいと思いました。①②③の講演を通して再び三作品を味わってみようと思った。もっと大勢の人達にこのような講演会に来て欲しいと思う。
- ・藤掛先生の二律背反のお話がとてもわかりやすく、また、自分の生活の中にもおおいに適用できるものだと思います。ありがとうございます。
- ・3講座ともとても興味深い内容でした。また機会があれば参加したいと思います。
- ・これから色々な本や映画を注意して読んだり観たりしようと思いました。
- ・考え直す良い機会となった。また出席したい。
- ・大変楽しく、また有意義でした。ありがとうございました。
- ・興味深いものでした。
- ・藤掛先生の講演はわかりやすかった。
- ・具体的な内容でわかりやすかったです。
- ・ありがとうございました。

自由意見

- ・藤掛先生の、もう一人の私について、つい最近私自身考えたことだったので、とても参考になりました。
- ・「価値と死の関係」「人間の意志と関係なく来る生と死」「もう一人の自分との出会いにおいて二律背反を生きる」この三テーマにいずれも共感するものを感じた。退職後にどう生きるべきか良くわからない自分の今後に大変参考になった。
- ・同じテーマを末永く続けて欲しいです。大変ありがとうございました。
- ・人間の心を知るために物語を学ぶということは、とても大切だし、おもしろいと改めて思いま



た。そこから読み取っていく力を養いたいと思いました。聖学院ではユニークな視点で切り込んでいく学びや講演があって、いつも楽しみにしています。物語からの学びにとっても興味を持ちました。機会を与えられたらこの分野をもう少し学びたいと思いました。

- ・藤掛先生の講演は二回伺ったことがあります。本はだいぶ手に入れてあります（これから読むのも含めて）。今、中年期の危機に際しておられる方々が私の周囲教会、社会にも多く、本日のように藤掛先生のカウンセリングを受けられる、また、ロールプレイやアートを使った心理的な作業を通して、そのクライアントの危機的状况からクールダウンさせ、各自の認識の変化に導く、こういう先生がとても必要であるのに、数的にも少なく残念です。また、クライアントが経済的にひっ迫しているけれど、問題は緊急性を必要という例は多いのですが、その方々を救う手だてはないのかなと考え込んでいます。私たち教会者が多めに勉強し、習熟して限界を感じつつも慰め役、傾聴者となっていくほかないのでしょうか？
- ・コミック作品は、あまり読んだことがないので、おもしろさがある事を学べた。
- ・ありがとうございました。竹取物語の世界の説明を聞きながら、今までの単なる物語ではなく、神様の視点で物語を感じることができ、感謝しています。日本人の昔ながらの「死生観」を物語から教えていただき、日本人もまんざらではないと希望を持つことができました。また、平山先生のお話を通し、父の死に至る過程と重ね

ながら、父の死の意味を受けとめることができ、感謝です。

- ・死の代わりに光があった。なんという喜びだろう…この至福の体験はトルストイの作品を読んだことがなくても、神様を本当に信じた者の死のとき、このイエス様は本当の神様であった。ありがとうと喜んで亡くなりました。これは本当に感謝でした。心の世界をなお、学びたいと思います。きみはペット、のだめカンタービレも読んでみます。
- ・カウンセリングの内容がさまざまあるので、マニュアル通にはいきません。ゆえに、一人一人の対応にも最善策が何かを常に考えるようにしております。離婚問題に関していえば、一方に偏った見方をするとうまくいかないようです。また、時間を使っていくことが大切だと思います。
- ・また、他の本、映画についてもお話を伺えないかと思います。本屋さんに行っても沢山ありすぎて選べません。年齢からいっても、目の問題もあり良い本を読みたいのでお勧めの本を教えてくださいたいです。
- ・どの先生のお話もみな、おもしろかったです。それぞれの作品を見て（読んで）みようと思います。自分のこれからについて考えさせられました。
- ・特に印象に残ったこと。
 - ①『現実的価値を重んずる世界から超越的価値を中心に置く生き方へと転換していく』
 - ②竹取物語から深い癒しを受け取っていること。
 - ③“もうひとりの私”との出会い（発見）、危機、が『統合』へと向かえる。参加させて頂き感謝です。
- ・今後「心の病について」学びたいです。
- ・講義調も良いですが、文学などから『魂』に触れるアプローチが良かった。
- ・このような講演をどんどんやってください。